# 令和４年度　事業報告

## Ⅰ　法人の概要

（１）建学の精神

『誠実・勤勉を心がけ、豊かな教養とより深い人間性の育成を目指す』

（２）設置する学校等

英真学園高等学校　　全日制課程　普通科

【教育目標】

生徒一人ひとりの個性・人格を尊重した学習指導・生徒指導を本校教育の基本とし、人権尊重の精神・ゆたかな心・創造的な知性をもち、自ら考え自らを律することのできる生き生きとした生徒を育てる。

【校訓】

・立志　　まず目的を立て、その目的を成し遂げようと決意すること。
・自立　　他との協調関係の中、他に頼らず独り立ちすること。
・誠実　　まごころをもって人に接し、事にあたること。
・勤勉　　事にあたっては、怠惰に流されず、一心にはげむこと。

（３）設置のコース

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| １年（令５年入学生） | 文理特進コース | 情報進学コース | 総合進学コース | |
| ２年（令４年入学生） | 文理特進コース | 情報進学コース | 総合進学コースⅠ類 | 総合進学コースⅡ類 |
| ３年（令３年入学生） | 文理特進コース | 情報進学コース | 総合進学コースⅠ類 | 総合進学コースⅡ類 |

（４）学費および生徒数等

ⅰ）学費

| 受　験　料 | 入学金 | 授業料（年間） |
|---|---|---|
| ２０,０００円 | ２００,０００円 | ５７６,０００円 |

ⅱ）募集人員（令和５年度入試）

| 募集人員 | 文理特進コース | 情報進学コース | 総合進学コース |
|---|---|---|---|
| ３００ | ５０ | ６０ | １９０ |

ⅲ）入学者数（令和５年度）

| 入学者数 | 文理特進コース | 情報進学コース | 総合進学コース |
|---|---|---|---|
| ２１６ | ３２ | ４２ | １４２ |

ⅳ）在籍者数（令和５年５月１日現在）

| 学年 | 在籍計 | 文理特進 | 情報進学 | 総合進学 | |
|---|---|---|---|---|---|
| １年 | ２１７ | ３２ | ４２ | １４３ | |
| | | 文理特進 | 情報進学 | 総合進学Ⅰ類 | 総合進学Ⅱ類 |
| ２年 | ２２３ | ５５ | ５１ | ２８ | ８９ |
| ３年 | ２１９ | ５２ | ６０ | ３３ | ７４ |
| 合計 | ６５９ | | | | |

（５）役員の概要　　役員の定数等（令和５年４月１日現在）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 理事　７名 | 一号理事 | 吉　田　進　彦 | 常　勤（校長） |
| | 二号理事 | 高　村　順　久 | 非常勤 |
| | | 鄭　　盛　旭 | 非常勤 |
| | 三号理事 | 神　子　和　良 | 常　勤（理事長）＊代表権あり |
| | | 永　島　治　典 | 非常勤 |
| | 四号理事 | 坪　田　浩　行 | 常　勤（常務理事）＊代表権あり |
| | | 吉　川　多賀子 | 非常勤 |
| 監事　２名 | | 大　西　　暁 | 非常勤 |
| | | 中　瀬　和　幸 | 非常勤 |

（６）評議員の概要　　（令和５年４月１日現在　１７名）

| | | |
|---|---|---|
| 一号評議員 | 教職員から互選された者 | ４名 |
| 二号評議員 | 卒業生の中から理事会で選任した者 | ３名 |
| 三号評議員 | 学識経験者から理事会で選任した者 | ４名 |
| 四号評議員 | 法人の理事 | ５名 |
| 五号評議員 | 教頭 | １名 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 一号 | 宮　原　亮　平 | 三号 | 西　尾　喜美子 |
| 一号 | 辻　　聖　佳 | 三号 | 内　田　準　吉 |
| 一号 | 小　林　千　弘 | 四号 | 吉　田　進　彦 |
| 一号 | 松　下　　正 | 四号 | 神　子　和　良 |
| 二号 | 笹　田　真由美 | 四号 | 永　島　治　典 |
| 二号 | 古　谷　邦　恵 | 四号 | 坪　田　浩　行 |
| 二号 | 工　藤　慶　子 | 四号 | 吉　川　多賀子 |
| 三号 | 高　村　順　久 | 五号 | 坂　原　佳　京 |
| 三号 | 鄭　　盛　旭 | | |

（７）教職員の概要　　各年度５月１日現在

| 年　度 | Ｒ１ | Ｒ２ | Ｒ３ | Ｒ４ | Ｒ５ | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (管理職) | | | | | | |
| 校　　長 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | H30～R3 川坂昌裕 R4～吉田進彦 |
| 副 校 長 | | | | | | |
| 教　　頭 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | H30～吉田進彦・坂原佳京 R4～坂原佳京 |
| 事 務 長 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | H28～坪田浩行 |
| (教育職員) | | | | | | |
| 常　　勤 | ５０ | ５１ | ５３ | ５４ | ４８ | R05　教諭(３９) 養護教諭(２) 常勤講師(６)<br>教育相談(１)　　＊校長、教頭を含まない |
| 非 常 勤 | １９ | １６ | １８ | １３ | １０ | R05　非常勤講師(８) 外国語実習助手(２) |
| (事務職員) | | | | | | |
| 常　　勤 | 5 | 5 | 4 | 4 | 4 | R05　事務長を含まない |
| 非 常 勤 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 | |
| 非常勤用務員 | | | | | | |
| 教職員計 | ８１ | ７９ | ８２ | ７７ | ６７ | |

Ⅱ　教　育

新型コロナウイルスの感染拡大の収束が見通せない１年であった。このため感染防止のための環境づくりに時間を取られる厳しい状況下であったが、理事長が発信し続ける「個性や違いを認めて支え合う学園」「他人を思いやる心豊かな学園」「毎日を肯定的に受け止める創造力豊かな学園」を目指して、校長以下教職員は、本校の教育目標の理念である『一人ひとりを大切に』に基づき、日々の教育活動に取り組み、英真教育に一定の成果を上げたと評価できる。

ただ、女子高から共学校に組織替えをしたときに、大学進学実績を残すために「特進コース」(現・文理特進コース）を設置したが、当初ほどの実績が上がっていない。また、情報処理コースを「情報進学コース」と名称変更したが、指導内容が時代の流れに則さない面もあり、他に類を見ない技術を習得する者がいるにも関わらず進学実績に繋がっていないと言わざるを得ない。

ｉ）英語教育の環境整備

他校ではあまり例を見ないハッチ・プログラムや英語多読指導等を実施しているが、大学進学実績にどのような成果が出ているのか。総括が必要であると思料する。

ⅱ）探究の時間の充実

学習指導要領では、探究の時間の目標を「探究の見方・考え方を働かせ，横断的・総合的な学習を行うことを通して，自己の在り方生き方を考えながら，よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することを目指す」とされているが、学園財政の厳しさからこの目標達成のための十分な予算を組めなかった。

ⅲ）ＩＣＴ化の環境整備

ＩＣＴ化に取り組んで６年になる。これで十分というわけではないが、ＩＣＴ教育を前進させる通過点であると考える。

（参考）校長発信の令和４年年度目標および重点目標

【年度目標】

１）アジア諸国に興味関心を持つ

多様な文化・言語に触れる

２）情報発信力を高め、協働的問題解決を図る力を養う

みずからの意見を表現・発信する力、意見を聴き理解する力を養う

３）アジアの中の日本を考える

公共心や模範意識、人権への鋭い感受性と他者を尊重し、お互いを高め合う力を養う

４）主体的・対話的で深い学びの探求

学びへの興味と努力し続ける意思を喚起し、指導方法を不断に見直し改善する

【重点目標】　　◆意識を変える◆

１）教職員自身の意識改革

①締切・時間に対する意識

②勤怠に関する意識

③働き方改革に対する意識

④学校からの指示に対する意識

⑤予算（お金）に対する意識

２）生徒に対する意識改革

①人権に対する意識

②転退学（教科の評価）に対する意識

（１）転学・退学者数について

| 年度 | 学年 | 年度当初 | 年度末 | 転学 | 退学 | 転退率 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| Ｒ０４ | １年 | ２４３ | ２２３ | １３ | 7 | *8.2%* |
| | ２年 | ２４０ | ２２１ | １１ | 8 | *7.9%* |
| | ３年 | ２６９ | ２６１ | 3 | 5 | *3.0%* |

（２）進路決定者数等について

| | 令和元年度 | 令和２年度 | 令和３年度 | 令和４年度 |
|---|---|---|---|---|
| 大学・短期大学 | １２２ | １２５ | １６５ | １２６ |
| 専 門 学 校 等 | ５７ | ７２ | ８０ | ８３ |
| **進学者数　計** | **１７９** | **１９７** | **２４５** | **２０９** |
| **就職者数　計** | **４８** | **４０** | **３３** | **３５** |
| 浪　　人 | １０ | 5 | 6 | 5 |
| 未　決　定　者 | １０ | １０ | ９８ | １２ |
| 進路未決定率＊ | *４.４％* | *4.２％* | *2.8%* | *4.6%* |

＊進路未決定率は「進学者」「就職者」の合計を分母に未決定者数の割合を算出した。

## Ⅲ　施設設備

（１）本館トイレ改修工事

本館完成後、共学化に伴い各階北側を男性用トイレに改修工事を行ったが、十分なものではなく現在に至った。令和２年に新型コロナウイルス感染拡大に伴い緊急事態宣言が発出され、学校現場での感染症対策が求められる中、文部科学省の令和３年度概算要求で、「新しい生活様式」を踏まえ、健やかに学習・生活できる環境整備の１つとして、学校トイレの乾式化が挙げられた。

本館トイレは湿式であったが、国庫補助対象事業としてこれを乾式化する改修工事を行った。もともと自動水栓であったが、これに自動せっけん水供給栓を追加した。乾式化により床を乾いたまま清掃でき、菌の繁殖増殖を抑えられるようになると説明を受けた。

トイレ改修工事総費用　　￥１０９,１２７,２５０－
（自動ドアを含む）

（２）その他

・本館　１～２階　排煙窓改修工事
・本館　体育館突き出し窓バンパー取替
・音楽室　床改修工事
・本館　５～６階　排煙窓改修工事
・北館　給水設備不具合修繕工事
・全館　電話機更新

## Ⅳ　財務の概要

(%)

| | 30 年度 | 元年度 | 2 年度 | 3年度 | 4年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 教育活動収支差額比率 | 1.6 | 4.3 | 11.0 | 5.0 | △0.8 |
| 経常収支差額比率 | 1.7 | 4.3 | 11.0 | 5.0 | △0.8 |
| 事業活動収支差額比率 | 1.6 | 4.3 | 14.5 | 5.0 | △0.8 |
| 学生生徒等納付金比率 | 46.8 | 46.5 | 50.7 | 50.3 | 48.1 |
| 寄付金比率 | 0.1 | 0.1 | 0.2 | 0.1 | 0.1 |
| 補助金比率 | 50.2 | 50.6 | 45.0 | 47.2 | 49.2 |
| 人件費比率 | 71.4 | 69.9 | 65.8 | 69.3 | 68.8 |
| 教育研究経費比率 | 22.4 | 21.2 | 18.1 | 21.1 | 27.7 |
| 管理経費比率 | 4.5 | 4.6 | 5.9 | 4.6 | 4.3 |
| 借入金等利息比率 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 基本金組入率 | 2.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 7.5 |
| 減価償却額比率 | 6.6 | 6.7 | 6.8 | 7.7 | 7.5 |
| 人件費依存率 | 152.6 | 150.3 | 129.7 | 137.7 | 142.9 |
| 基本金組入後収支比率 | 100.6 | 95.7 | 85.5 | 95.0 | 109.0 |